

八戸港多目的国際物流ターミナル

脱炭素化の取組主体	主な取組内容
青森県	港湾脱炭素化推進計画の策定
	インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
	ヤード内照明、ガントリークレーン照明のLED化

[ターミナル概要]

八戸港多目的国際物流ターミナル（八太郎J岸壁）は、水深-13m、岸壁延長260mが整備されており、5万トン級のコンテナ船が接岸できます。

コンテナ輸送に関しては、1994年に東北初の国際定期コンテナ航路となる東南アジア定期航路が開設され、現在は中国航路、韓国航路及び内航フィーダー航路が運航しており、北東北の国際物流拠点として大きな役割を担っています。

また、ターミナル内の環境負荷低減に向けた取組としては、インバータ制御方式のガントリークレーンを導入するとともに、ヤード照明やガントリークレーン照明のLED化を推進しています。

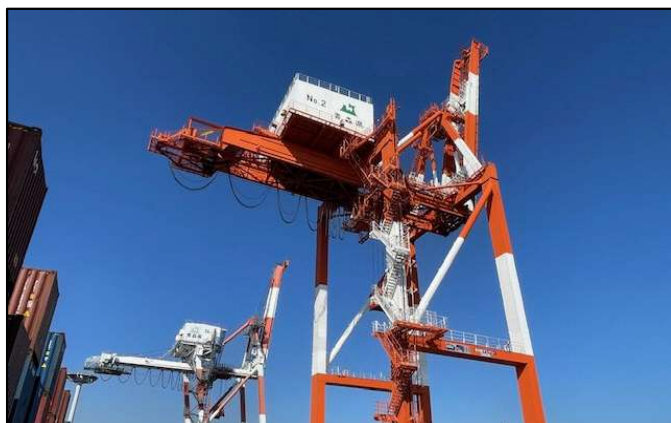


認証レベル

Level 1

(認証日 令和7年11月5日)

CO₂排出量原単位
16.20 kgs CO₂ / TEU



インバータ制御方式のガントリークレーンの導入
(全2基)



脱炭素化推進協議会



ヤード内照明のLED化